

プログラム

指揮 筒井 彰
司会 萩原輝子

SAILING, SAILING! (出帆だ!)

O.M.C.テーマソング。創立以来歌い続けています。——
編曲 OSAKA MEN'S CHORUS

◇組曲『航海詩集』

詩人丸山薫は、昭和16年(42才)初夏の頃、帆船「海王丸」に乗船するチャンスに恵まれ、50日余りの航海をし、若い頃から憧れていた“船乗り生活”を体験した。その時の印象をもとに作られたのが、30余篇からなる詩集「點鐘鳴るところ」であり、この組曲には、そのうちの4篇の詩が使われています。

I. キャプスタン II. 船おそき日に III. わが窓に IV. コンパスづくし

◇WESTERN SONGS

よく知られたウエスタンソングの男声合唱向に編曲されたものです。O.M.C.編曲
伴奏付。

RED RIVER VALLEY (赤い河の谷) 編曲 福 永 陽一郎
POOR LONESOME COWBOY (孤独のカウボーイ) 編曲 NORMAN LUBOFF
RIDERS IN THE SKY 編曲 北 村 協一
HOME ON THE RANGE (時の我家) 編曲 DAVID W. GUION
THE YELLOW ROSE OF TEXAS(テキサスの黄色いソバラ)編曲 福 永 陽一郎

◇SEA SHANTY

毎年リサイタルで歌い続けているO.M.C.18番、海 男たちの歌「シー・シヤンティ
一」今年も新しいレパートリー、新アレンジでメロディーの美しいものを。

SANTY ANNA——メキシコ航路の舟乗りが、皇帝マキシミリアの娘の美しさに対する
憧れを歌う。“FOCSIE SHANTY”と云われ非番の水夫たちが上甲板に集って歌う。
HAUL AWAY JOE——俺がガキの頃おフロが俺に云ったっけ、女の子とキッスをし
なけりや、くちびるにカビが生えちまうよ……。HAULING SHANTYの代表的な
もの。

STORMALONG JOHN——年老いた“荒くれ”が逝っちゃった。俺は銀のクワで墓を掘り、
り、金の鎖で穴へ下ろしてやった。イギリスの最も古いSHANTYの中の一つ。

TOM'S GONE TO HILO——トムはヒロへ行っちゃった……。俺はどうしたらいいん
だ。去って行った友への惜別の念をバリトンソングが歌います。

A-ROVING——アムステルダムに素適な娘がいて……。散歩に連れ出し、愛の言葉
を交したが……。WINDLESS (錨巻き機)SHANTYと言われる種類の曲。

LOWLANDS——CAPSTAN (錨綱を巻き上げるロククロ)SHANTYと言われ、錨を上
げたり、引船をする時歌われる。ゆったりとした美しいメロディーが印象的。

THE ERIE CANAL——“SAL”と言う名の牝のラバ、俺の良き仕事仲間だね、日に何
杯かの荷物を満載したはしけを引っぱって、エリー運河を15マイルものぼるのさ。

『航海詩集』

I. キャプスタン

キャプスタンに
帆索を巻いて
よいと、ごらさき
廻わすのだ。

キャプスタンの
バネを振りあげ
釣り上げた
錨の頭を
殴るのだ

キャプスタンに
片あぐらかき
けふも、老水夫長が
唄ってゐる

キャプスタン!
いまはむかし
そんな名の
船来煙草も
あったっけ

白い海鳥が
航路の泡に
ぼんやりと
ゆらゆらりと

ふいにそれは
舞い上る
メインマスト
よりも高く
太陽にひるがえって

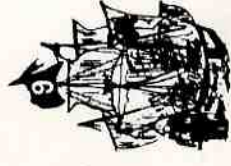
何処かへ
いってしま
しぼらくすと
海鳥が おなじと
ろにぼんやい
ぶかり ぶかりと

船尾で若者達が
ロンダラインを手繰

りながら
船脚を踏んで
ひとつ ふたつ
みつつ よつつ

私は知ってゐる
海鳥はたった一羽だ

II. 船おそき日に



OSAKA MEN'S CHORUS

第9回 リサイタル

本日は寒い中を本当によくおいで下さいました。
“脚長く、酒好き、女の子にもてる”等という妙な入団資格を掲げて設立した
OSAKA MEN'S CHORUSも、気が付いてみると12年の歴史を残し、今日第
9回目のリサイタルを迎えることになりました。

イキがっていた男の子たちも、知らない間に2世が……というメンバーも大分増
えてきたのが現実のようです。
しかしながらスケジュールは、オペラあり、依頼ステージあり、ラジオ出演、合
宿、3泊4日の定例海水浴、お花見ツアー-etc. とステージに、遊びに、相変らずの
多忙を極めています。

最近人様からは、“大人のコーラスグループ”と云われながらも、練習の後の
ハ一では、『O.M.C.の将来はこうだ!』と深夜まで白熱した論議を交わし、会費
から宝クジを定期購入して、未来のO.M.C.会館設立というバカげた夢を持ち、No
81号にもなる、20頁を越す不定期誌、“O.M.C.ジャーナル”を発刊し続ける……等、
相も変らぬスキ者ぞろいのグループのようです。

今日のプログラムは、“海と西部の歌”と題し、伴奏付の曲をおりまして、楽しい
企画をしました。どうか最後のSailing Sailing!まで、ごゆっくりとお楽しみ下さ
いますようお願い致します。

12月4日(日)

2:00 P.M.

指揮 筒井 彰

大阪厚生年金会館中ホール

安藤邦昭



①赤
②晩
③養命酒
④川
⑤そうです！
OMCを愛している生物

尾崎 納



①妻の花嫁姿
②妻の作った味噌汁の味
③ほんのり紅い妻の頬
④浜辺で見た妻の肌
⑤妻

下出淳夫



①白、深、中
②朝まで続く
③酒と牌
④海底でも続ける
⑤人の性なり

鈴木重雄




①清纯な心
②さわやかな心
③素直な心
④広い心
⑤醜い心

村田光巧



①雪、スキー、白い恋人たち
②始め、終り、別れの朝
③ワイン、バラ、酒とバラの日々
④貝、エーゲ海、エーゲ海の真珠
⑤男性、女性、男と女

岩城孝次




①かんごふさん
②ボサノバとコーヒー
③-OHはいくつ？
④OMCのAntigen
⑤寄生虫でも宿主でもある

岡田良文



①たいだ
②つつまん
③しおからい
④まづい
⑤つまらない

篠田圭一郎



①女
②女
③女
④女
⑤女

砂場一晃



①白を黒と言いくるめ
②朝寝が大好きで
③酒ばかりくらって
④海にだけあこがれを持ち
⑤人間、特に中年男って嫌ね！

岩井雅和



①他の色があってこそ映える色
②出勤日と休日と極端に違うもの
③明方のタクシーの中のいねむり
④東映映画のオープニング
⑤クインタキンの世界

川井芳長



①大三元の証明
(ホラあのツモですヨ)
①舌先の証明
(ホラあの固さですヨ)
③たまったツツクの証明
(ホラあのほしごですヨ)
④コボウの証明
(ホラあの太平洋ですヨ)
⑤八景村の証明
(ホラあのタタリですヨ)

橋本隼人




①タビチの珊瑚礁の砂浜
②脱ぎだたのコーヒーの香り
③人生の潤滑油
④男の夢とロマン
⑤業深き寂しがり屋

藤川文義




①OMCの深淵さ
②OMCの合宿
③OMC
④OMCのパカンス
⑤OMCの味

南都三郎



①サントリー
②マラソン
③酒
④万物の産の線
⑤まがまがしいもの

小笠原卓志




①ウエディングドレスと雪とスキー
②眠い！
③波とビニースタイルとクラゲ
④めい煙とドンチャン騒ぎとタバコ
⑤コンピューターとロボットと酒

川端 勇



①洗剤の証明
②太陽の証明
③ヨッパライの証明
④宝島の証明
⑤証明不可
考えたら誰か書いてから書かせるか……

鈴木 真



①無垢、そして至純
②躍動の予感
③硝子色のやすらぎ
④果しなきロマン
⑤夢とまごころ

鳥居信男



①朝もや
②二日酔
③黄海
④海水浴
⑤北極熊

O. M. Cサボリ方教室、またはいかにすれば要領よく立ちまわれるかについての一考察

『定番編』●ガ二股が気になるヤツは、外側の足を少し前に出してななめに構えて歌え、●第一ステージは程々な張切って歌うものだ。そんな時に「俺もひとつ」なんて調子を合せなくてもよい。軽く流す程度に歌え。他のメンバーに疲れた見ええる第三ステージあたりからボチボチ具合を入れて行く。第4ステージで思切りブツ放せ。あのパートはあの人がリードしているんだなど客席では思っている。

●ワッカリとびし出したり、大きな声で間違った場合には、テレかくしに下を向いたり赤い顔をしたりせず、すぐに隣のヤツの顔を、シロツと見てやれ。少ななくとも要領はゴマかせる。●少し具合を入れて歌い続けると、足が棒のようになってくるものだが、そんな時は思切って曲と曲の間隔に譜面をハサツとステージに落せ。譜面を拾っている間は、指揮者も待ってくれるし、その間充分足を曲けておられる。●休憩時間は、楽屋でのんびりせず、ロビーに出て目立て。少ななくとも後半のステージは視線が集中する。

5つの言葉に対するイメージ質問!

①白
②朝
③酒
④海
⑤人間

①白旗 降参 巨人 大鷲 卵焼
②トイレ ガス イオウ 温泉 ユテ卵
③祝酒 深酒 二日酔 迎酒 卵酒
④魚 タコ イカ エビ カニ 二卵
⑤人類 胎性 哺乳類 カモノ ハノシ 卵胎性

筒井 彰



①真白に輝いたカッターシャツとエプロン
②勿論"おはようバーンナリテイ"
③2人して飲みかわすオンザロックの味
④OMCの"Sailing Sailing"の歌声
⑤癒しさと思いやりと男らしい力強さを持った。私旦那さま。エヘヘ

早草 寛



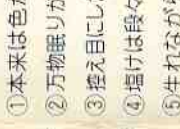
①学校の先生 (清潔！)
②学校の先生 (朝早くからご苦労さん)
③学校の先生 (立场上飲めないんです)
④学校の先生 (広い心を持っています)
⑤学校の先生 (もっとも人間的です)

半田 孝



①ハリウム
②新簡配運
③宴会
④200海里
⑤いじわる

松岡康生



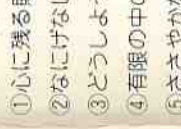
①ゲレンデスキー
②白い息をまきはきランニング
③飲んだら……無理でしょう
④水面を見つめてフィッシング
⑤……的なのはボクシング

森 靖輝



①サントリー・ホワイトラベル
②衣々の別れと二日酔
③樽に女、もしくは語るべきなきないけれど意味のない代物
④カナスチ(陸りなく近い)
⑤動物にとってもこれほどごわい動物はない

山下八郎



①無と静寂。
②朝刊と牛乳。つつまんと始発列車。
③香りとココ。深酒と終電車。
④潮騒と霧笛。分れと船出。
⑤可能性への挑戦。

荒田利男



①家内の好きな色
②すだが、これほどつらいものはない
③また、これほど楽しいものはない
④昔の名、いまや世界の公衆便所。セックスの副産ではたまらぬいい！

高野昇平



①うちの昔飼ってたネコ"シロ"。でも茶色と黒色のアチでした。
②つい先日の早朝ランニング。
③酒飲んでハカになる。これはいい。でもいつもハカになる程。酒ばかり飲んでいると本当のハカになります。
④上の三つが長すぎたので省略

高橋佳己



①花(美しく純粋です)
②光(時を認識します)
③歌(それは想いです)
④大(暖かな抱きかかれます)
⑤? (つかみどころはありません)

宮内隆造



①無限にして究極：モーツァルト
②静寂にして開始：ブルックナー
③妖艶にして耽美：シュトラウス
④夢幻にして繊細：ラヴェル
⑤柔ににして破天荒：ブラームス

岩井 爽



①白
②朝
③酒
④海
⑤人間

尾崎公昭



①犯人ではない
②眠い
③打ち上げパーティーで
④やすらぎ
⑤?

広田一仁



①空、空ナル哉、是空ナリ。
②窓枚拒否症、或いは輝やける陽光。
③世界平和
④生命の起源
⑤混沌、或いはエントロピーの増大

藤谷賢介



①"ペリョースカ"
②"歌おう滑ろう"
③"終電車のブルース"
④"酒はあわもり"
⑤"銀杏並木"

吉田真一



①答案用紙
②遅刻常習犯
③乗り越し
④水死体
⑤世界は1つ皆兄弟

杉野文昂



①森の朝
②パロッド音楽の楽しみ
③赤垣屋
④琵琶湖
⑤愛情

